

安定した市政を続けていくために 緊急財政対策に取り組みます

問 財政課

市長通信「共生都市」逗子へ

ピンチをチャンスに変える 超少子高齢社会に 対応する財政改革を



来年度予算で7億円の財源不足

少子高齢化が進む中、逗子市の平成28年度市税収入は10年前より約10億円減少しています。一方、これまで行財政改革によって財源を確保しつつ、子育て・教育施策の拡充、障がい福祉の充実、池子の森自然公園・第一運動公園整備などに取り組んできました。

こうした中、平成28年度において地方交付税や地方消費税交付金などの歳入が予想を大幅に下回り、また、市の貯金である財政調整基金も残高が1億円まで減少したため、来年度予算において約7億円の財源が不足する可能性が濃厚となりました。このため6月に緊急財政対策本部を立ち上げ、人件費の削減、事業の大幅な見直し、歳入の確保などを検討してきました。

今回、急激な財政悪化を招いた責任を痛感するとともに、市民の皆さまにご心配をおかけしていることを深くお詫び申し上げます。

小児医療費助成など子育て支援や 活性化イベントへの影響は最小限に

厳しい財政状況にあっても、市政発展のためには子育て支援の充実が重要であり、小児医療費助成は現状維持を、特定不妊治療費等助成や学校への教育指導教

員配置は縮小して継続するなど、子育て支援や少子化対策への影響を最小限にとどめます。

また、まちの活性化につながる逗子市民まつりやスポーツの祭典などのイベントは、予算をかけずともできる方法を実行委員会の皆さんと検討し、市民との協働によって逗子の魅力向上に引き続き取り組みます。

平成30～31年度を集中対策期間とし、 財政の早期安定化を目指します

将来にわたって安定した財政を維持するためには、行政サービスを歳入に見合う規模に取捨選択しなければなりません。来年度から2年間で集中的に取り組み、超少子高齢社会に対応した財政構造への転換を早期に図ります。

緊急財政対策によって、他市より手厚いサービス水準の引き下げや事業の休廃止、公共施設利用時間の短縮、受益者負担の適正化など、市民の皆さまに多大なご負担をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

逗子市長 **平井 竜一**

緊急財政対策市民説明会

市長が対策の内容などについて説明します。

時 11月11日(土) 14:00～16:00

場 市役所5階第1～2会議室

定 当日先着50人 *要約筆記あり。託児(先着5人)・手話通訳希望者は11月6日(月)までに申し込んでください。

問 財政課

具体的な休廃止の内容など
緊急財政対策に関する詳細は、
市ホームページで確認できます。



平成30年度を乗り切るために 7億円の対策

対策1 職員に掛かるコスト削減 2億7,000万円

人件費は、環境クリーンセンターの業務や公共施設の管理などを委託することで、年々減少してきましたが、それでも一般会計歳出総額の約4分の1を占めています。市長をはじめとする特別職職員や、一般職職員の給与を削減し、不足する財源を補います。

- ・特別職職員(市長、副市長、教育長)や一般職職員の給与などを削減
- ・一般職員・非常勤事務嘱託員の人数を削減



対策2 市が独自で行ってきたサービスの見直し 2億6,000万円

サービスの見直しをするに当たっては、まず、平成30年度に必ず行う必要があるサービスかを考慮し、その上で、サービス水準を下げられないか、市がやらなければならないのか(国県が同様のサービスを行っているのではないか)、他に効率的な実施手法がないか、などを考

慮しました。

次に紹介しているものは、特に市民の暮らしに影響があるものです。「廃止」は今後は行わないもの、「休止」は一時的に凍結して更に検討するもの、を意味しています。

子育て・教育サービスの見直し

- ・幼稚園就園奨励費補助金 **縮小**
- ・すこやか健診(小児生活習慣病健診) **廃止**
- ・特定不妊治療に対する助成金 **縮小**
- ・特別支援補助教員 **廃止**
- ・少人数指導教員・教育指導教員 **縮小**
- ・ふれあいスクール配置人数 **縮小**
- ・交通整理員の配置 **休止**
- ・ピースメッセージャーの派遣 **廃止**

施設の閉館日数・時間の縮小

- ・沼間コミセン・小坪コミセン
閉館時間 21:00→**17:00**
- ・市民交流センター 閉館時間(日)のみ21:00→**18:00**
- ・市民交流センター温水プール
閉館時間21:00→**20:30**
- ・福祉会館 休館日 なし→**(土)(日)**
- ・高齢者センター 休館日 (日)(休)→**(土)(日)(休)**
- ・体験学習施設 閉館時間
平日20:00→**19:00** (土)(日)(休)20:00→**17:00**
- ・図書館 休館日 第1・2・3(火)→**(火)**
閉館時間20:00→**18:00**
- ・逗子アリーナ 休館日 最終(月)→**(月)**
- ・第一運動公園プール、小坪飯島公園プール
開設期間7/1～9/15→**7月中旬～8/31、無料券廃止**
- ・第一運動公園・池子の森自然公園内の有料運動施設
休場日 最終(月)→**(月)**

高齢者サービスの見直し

- ・敬老会・100歳祝金 **廃止**
- ・池子デイサービス施設 **休止**
- ・鎌倉市内浴場での入浴助成 **廃止**
- ・高齢者センター浴場 **休止**

イベント開催への補助などの見直し

補助なしでも開催できるかを今後検討します。

- ・逗子海岸花火大会
- ・逗子市民まつり
- ・逗子海岸流鏑馬・武者行列
- ・逗子アートフェスティバル
- ・逗子市内一周駅伝競走大会
- ・逗子市民総合体育大会
- ・スポーツの祭典
- ・チャレンジデー

補助金・交付金の見直し

- ・住宅用スマートエネルギー設備購入費補助 **休止**
- ・防災工事補助 **休止**
- ・耐震診断及び工事補助 **休止**
- ・家庭用生ごみ処理容器等購入費助成 **休止**
- ・ごみ散乱防止ネットボックス等購入費助成 **縮小**
- ・その他、各種団体への補助金・交付金 **縮小**

対策3 国民健康保険の補てん削減 1億円

市では、法で定められた国民健康保険への補助の他、国民健康保険料を低く抑えるために、毎年約4億円を税金で補てんしています。しかし、それによって他の事業に配分できなくなるため、補てんは最低限にとどめなくてはなりません。

また、平成30年度には国民健康保険の運営が市から県へ移ることになっており、補てんを段階的に削減することが求められています。

対策4 ごみ処理広域連携 7,000万円

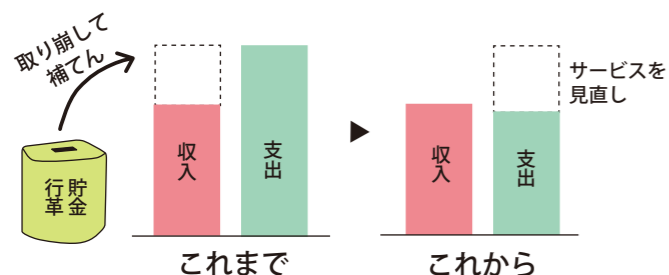
ごみ処理の広域連携については平成28年に鎌倉市と葉山町と覚書を締結しています。今年7月から葉山町の可燃ごみを試験的に受け入れ、焼却処理を行うことで平成29年度は約1億円の負担金収入を見込んでいます。平成30年度も広域連携を推進していくことで、歳入増とコスト削減を図ります。

なぜ財源不足になったのか？

減少する市税、増加する社会保障費

逗子市の収入の半分を占める市税は、平成20年度以降、景気低迷や高齢化の影響などで減少しています。一方で、生活保護や子ども、障がい者などに掛かる経費(社会保障費)は大きく増加しています。

市税が減少した分、国からの交付金(普通交付税)が増える仕組みになっていますが、減った額のすべてが補てんされるわけではありません。これまで、収入が足りない分を、行財政改革による財源確保や貯金(財政調整基金)を取り崩して、サービスを維持してきました。しかし、財政調整基金の残高も残りわずかです。



財政の余裕度はゼロ

平成28年度の決算では、経常収支比率が101.5と初めて100を超えました。経常収支比率は、低いほど財政運営に余裕があり、政策的に使えるお金が多くあることを示します。逗子市の場合には100を超えたため、貯金の取り崩しなどがなければ、新しい事業はもちろんのこと、毎年実施しているサービスや施設の運営なども全てはできないこととなります。逗子市の経常収支比率は、県内の政令市を除く16市中、2番目に高くなっています。

身の丈に合ったサービスを

サービスはできる限り現状を維持したほうが望ましいという考え方で、これまで市政を運営してきました。しかし、将来に渡って安定した財政運営を行うために、「歳入に見合った歳出」の原則に立ち戻り、サービスを見直さなければならない状況に直面しています。



Q & A

Q どうして急に財政が苦しくなったのですか？

A 主な収入である市税が2億8,000万円減少し、それに加え、今回は、国からの地方消費税交付金が1億円、地方交付税などが2億6,000万円減少したことが、大きな原因です。

Q 市の財政は破綻してしまうのですか？

A 貯金が残りをわずかですが、大きな借金があるわけではありません。支出を見直せば余裕が生まれ、安定的な財政を取り戻すことができます。

Q サービスの見直しは決定ですか？

A 市の方針としては、決定です。ただし、平成30年度の予算編成では、緊急財政対策では見込んでいない収入や支出の増減を加味する必要があります。これらを総合的に判断する中で、場合によっては見直しの内容を変更することもあります。平成30年度の予算は、市議会の審議を経て、3月初旬に決定される予定です。

Q 休止のサービスは元に戻るのですか？

A 今後も市税の減少と支出の増加が見込まれるため、安定した財政運営のためには、サービスを縮小していく必要があります。休止のサービスについては、収入が減っていく中でも続けていくかどうかを改めて検討します。

Q 税金が高くなることがあるのですか？

A ありません。市民の皆さんが納める税金を一律に高くするのではなく、特定の行政サービスを受ける人に、それに見合った使用料・手数料などを求めることを検討しています。

Q 高齢化や人口減少がさらに進むと、将来、財政はもっと苦しくなるのでは？

A 人口減少は全国的に大きな問題となっています。逗子市でも人口を維持するために、市の魅力を発信し、市外からの転入者を増やしていく努力を続けていきます。